

**試験区分** 平成 30 年度/前期/理解度テスト 2

**科目** Java プログラミング I (2 年前期・必修)

### 試験日

学年・組	日付	時間 (教室)
2 年 1 組	7 月 13 日 (金)	5 限目 (A11) 16:30~
2 年 2 組	7 月 13 日 (金)	5 限目 (A11) 16:30~

(注意 1) 講義の開始時刻には入室しておいてください

(注意 2) 該当するクラスに履修登録されている学生のみ入出を許可します

(注意 3) 時間割の都合上、異なる講義室で異なる時間帯に試験を行うことにご協力下さい

(注意 4) 7 月 9 日 (月) の通常講義は休講として、理解度テスト 2 に振り替えます


**試験時間** 60 分

### 遅刻と退出

試験開始後 20 分以内の遅刻は入室を認めますが、試験時間は延長しません

試験開始後 30 分以降は退出を許可します

### 出題範囲

- ・7 回「switch 文と論理演算子」から 12 回「クラス」までです  
ただし、発展アイコン  がついている内容は出題範囲から外します
- ・講義プリントの例題や課題プリントで出題した問題を基本にして出題します
- ・教科書の範囲は、5.5 章「switch 文」～8.3 章「クラスの利用」までです

### 出題形式

- ・○×問題や穴埋め、選択、説明問題、プログラミングなど多岐にわたります
- ・自主的にプログラミングを何度もこなし身に付けた学生を評価する問題を出題します
- ・web に公開している過去問を参照してください

### 持ち込み

学生証 (本人確認をします)、筆記用具

※学生証を忘れた場合は学生課で仮学生証の発行をうけましょう (厳守)

### 再試験について

再試験は学期末試験期間に行います。該当者は 15 週目講義でお知らせします。再試験の条件は非常に厳しく設定しますので本試験に最善の努力を尽くして臨んで下さい。必ずしも不合格者すべての学生が受けることができるわけではありません。

### 15 週目講義について

各クラス時間割を確認して出席してください。答案の返却と解答の解説、再試験の案内を行います。

### その他

★試験の公平性を期するために試験前の質問は大歓迎しますが、試験後のお願いは一切受け付けできません。試験結果に納得のいくように努力をお願いします。

★当日、体調不良や電車の遅延など止むを得ない事情により出席できない場合は、**当日中にメールで [m-ishihara@fit.ac.jp](mailto:m-ishihara@fit.ac.jp) まで連絡**をください。数日中に**追試の指示**を出します。